

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
総合診療	内科予約2診	内科(循環器) 有田		内科(循環器) 有田		内科(肝臓) 佐藤		内科(肝臓) 佐藤		内科(神経) 中西	
	内科予約3診	内科(糖尿) 佐々木 秀		内科(糖尿) 小河		内科(肝臓) 田中 寛		内科(糖尿) 佐々木 秀		内科(糖尿) 小河	
	内科予約4診	内科(神経) 山根木		内科(呼吸器) 上谷		内科 交替制		脳疾患・救急 加藤 上野 【第1・3・5週】		脳疾患・救急 上野 交替制	
	内科新患5診	内科 交替制		内科 交替制		内科 交替制		内科 交替制		内科 交替制	
	外科診	外科 櫻井	外科 佐々木 恵 【不定期】	外科 櫻井		外科 鈴木 潤 【2週】	外科 佐々木 恵 【不定期】	外科 櫻井	外科 櫻井		
脊椎ケアセンター	第6診察室	脳神経外科 大岩		脳神経外科 大岩		脳神経外科 大岩		脳神経外科 大岩		脳神経外科 大岩	
	第7診察室	センター長 川上		センター長 川上						センター長 川上	
	第8診察室	整形外科 石元		整形外科 中尾		整形外科 中尾		整形外科 石元		整形外科 石元	
	リハビリテーション科	隅谷		隅谷		隅谷		隅谷		隅谷	
眼科	泉谷	子供外来	黄斑外来	手術	泉谷	術前外来	田中 才	手術	田中 才		
小児科	戸川	予防接種	樋口		戸川		樋口		戸川		
麻酔科	堂城						堂城		堂城		

※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。2013年7月1日現在  
 ※担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。※外科：佐々木 恵 医師の診察は不定期となるため、事前にお問い合わせください。  
 ※眼科：コンタクトレンズ外来は第2・4月曜日の午前10時00分～10時30分

紀北分院 予約センターTEL：0736-22-4600 (受付時間 月～金曜日 8時45分～15時)

季節の減塩レシピ

鶏肉と夏野菜のマリネ

暑い季節がやってきました。さっぱりしたものが食べたい夏に、「鶏肉と夏野菜のマリネ」はいかがでしょう。  
 ○減塩ポイント・酸味の利用  
 酸味は食塩と相性がよく、味をまろくし、塩分を控えた料理も美味しくしてくれます。また酸味には食欲を高める働きがあり、夏バテにも効果的です。

<材料：1人分>

鶏肉(もも・皮なし) 60g、塩 0.1g、こしょう少々、小麦粉 6g、オリーブ油 3.5g、赤パプリカ 15g、黄パプリカ 15g、ナス 15g、ズッキーニ 15g、オリーブ油 3.5g、☆(酢15g、砂糖2.5g、塩0.3g)

<作り方>

鶏肉は一口大に切り塩・こしょうをして小麦粉をまぶす。ナス、ズッキーニは輪切りに、パプリカは一口大に切る。フライパンにオリーブ油(3.5g)を熱し、ナス・ズッキーニを両面焼き、パプリカを加え炒め合わせ、ふたをして蒸し焼きにし、取り出す。オリーブ油(3.5g)を足し、鶏肉を両面焼き、ふたをして蒸し焼きにする。合わせた☆に食材を温かいうちに入れ、なじませる。

<栄養量>

エネルギー 183kcal、たんぱく質 12.4g、脂質 9.5g、炭水化物 10.6g、塩分 0.5g

\*塩 0.1gは耳かき一盛り程度



管理栄養士 東 佑美

お知らせ

- 平成25年5月に内科 佐々木秀行教授が着任しました。
- 平成25年6月に整形外科 宮本選助教授が退職し、7月より石元優々助教が着任しました。
- 次回の紀北分院通信「あじさい」秋号は10月です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 有田 幹雄

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219 TEL 0736-22-0066 FAX 0736-22-2579  
 ホームページアドレス http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html

2013年7月発行



あじさい



かつらぎ町イメージキャラクター フルーツ王国

掲載内容

- 教授就任のご挨拶
- リハビリテーション科はこんなこともやっています！
- 外来診療医担当表
- 新任ドクターの紹介
- 糖尿病看護専門外来(フットケア)について
- 季節の減塩レシピ

私たちの信条(クレド)

- 笑顔で挨拶しよう
- 思いやりをもって接しよう
- 謙虚に耳を傾けよう
- やさしく、わかりやすく話をしよう
- 感謝の気持ちを言葉にしよう
- 時間を守ろう
- コスト意識をもとう
- 整理・整頓・清潔に努めよう
- 絶えず学び成長しよう
- 互いの仕事を理解して協働しよう
- 命を守っている誇りと情熱をもとう
- 実習生・研修生も同じ思いをもって仲間として迎えよう
- 笑顔と喜びに溢れる病院にしよう

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

患者さんの権利

- 1 患者さんに信頼され、安全で心のこもった医療を行います。
  - 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
  - 3 地域に密着し、地域のニーズに応える医療機関を目指します。
  - 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
  - 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作りに貢献します。
- 当院では、受診される皆様、以下の権利を有することを確認し、尊重します。  
 1 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。  
 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。  
 3 十分な情報を得た上で、自己の意志に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。  
 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。  
 5 個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

基本方針

私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全で心安いいただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

理念





さ さ き ひで ゆ き  
内科教授 **佐々木 秀行**

診察日 月・木曜日  
専門分野 糖尿病学 内分泌代謝学

平成25年5月1日から紀北分院内科教授に着任いたしました佐々木秀行と申します。生まれは和歌山県御坊市ですが父親の仕事の都合で、串本町や那智勝浦町さらにはかつらぎ町妙寺にも住まいしたことがあります。今回、紀北分院に勤務させていただくこととなったのも、良き縁があったものと喜んでおります。地域の皆様の健康増進に少しでも貢献できるように全力で取り組む所存であります。

これまでは、和歌山県立医科大学附属病院の第一内科（糖尿病・内分泌代謝内科）に勤務し、糖尿病を中心に専門的な診療をしてまいりました。糖尿病は万病の元といわれ、血糖値が高いまま放置すると、目や腎臓、神経のなかの細い血管が悪くなり、視力低下、足のむくみ、しびれ・いたみがおこります。ひどくなると失明、腎不全による透析、足壊疽（えそ）にいたります。また、糖尿病では高血圧や血中の脂肪の異常を合併することも多く、これらがあると早くから動脈硬化症が進行し、若くして心筋梗塞や脳梗塞を発症することもしばしばおこります。ですから、「糖尿病といわれた。」⇒「いつ病院にゆくのか？」⇒「今でしょ!!」という最近流行りのフレーズがまさにピッタリくるわけで、診断されたときからの継続的な通院加療が最も大切です。お気軽にご来院ください。

紀北分院内科では糖尿病のみならず、高血圧や、肝臓病、肺気腫、神経疾患など生活習慣病全般を専門の内科メンバーで診療しております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 教授就任のご挨拶

## リハビリテーション科はこんなこともやっています！

リハビリテーション科 准教授  
のりや だだし  
**隅谷 政**

リハビリテーション科所属の技師は今年度より理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士1名となり、従来よりも作業療法と言語聴覚療法が充実しました。

作業療法では、腕や手指の障がいに対する機能訓練、日常生活や家事をこなすための動作訓練、記憶力低下や注意力散漫といった高次脳機能障害の回復訓練などを行っています。骨折などのけが、関節リウマチなど骨や関節の病気、脳や脊髄、神経や筋肉の病気などはもちろんのこと、肺や心臓など内臓の病気や外科手術によって身体が弱ってしまった方々にも積極的に取り組んでいます。

言語聴覚療法では、脳卒中など脳の病気で言葉が不自由になられた方々はもちろんのこと、言葉の発達に遅れが見られる子どもにも治療を受けていただけます。また、色々な病気のために食べ物を食べて飲み込むことが不自由になってしまった方々には、口やのどの動きをよくする機能回復訓練を行いつつ、食事の献立や食べ方に工夫をこらして、できる限り食べる喜びを取り戻してもらえるように努めています。

作業療法と言語聴覚療法ばかりではありません。理学療法においても、肺や心臓の病気にかかっている方々に対して、呼吸器リハビリテーションや心臓リハビリテーションに積極的に取り組み、適切な運動の効果によって肺や心臓の機能を良くするようにしています。この秋には、心臓や肺の機能を同時測定して運動強度の設定やリハビリテーションの効果判定を行える新しい装置の導入も予定しています。また、糖尿病や高血圧症や肥満症の患者さんに対しても、適切な運動療法を実施してメタボリック症候群を是正するよう強力に働きかけています。現在はまだ行っていませんが、病気やけがで手足をなくしてしまった方々のリハビリテーションも計画しておりますし、そのほか何事にもチャレンジしていく所存です。

私たちのリハビリテーションに関心を持たれる方々は、かかりつけの先生にご紹介いただくか、直接リハビリテーション科を受診してみてください。



嚙下（えんげ）造影検査



長下肢装具による歩行訓練

## 新任ドクターの挨拶



おおいわ よしつぐ  
脳神経外科 准教授 **大岩 美嗣**

診察日 月・水・金曜日  
専門分野 脳神経外科一般

平成25年4月、紀北分院に着任しました脳神経外科の大岩美嗣です。

7年ぶりに県立医大に戻り、また和歌山で仕事ができていることが光栄です。私は脳神経外科領域全般に、幅広く、どのような疾患にも対応できるよう心がけてやってきました。紀北分院では、患者さんひとりひとりの病状に応じたベストの治療が選択でき、偏った治療とならないことを基本方針にしたいと考えています。

幸いに脳神経外科では病棟や手術室だけでなく放射線科、リハビリテーション科など多くのスタッフとの間で、すでにすばらしいチームワークが発揮されていることが実感できます。むしろ私自身が医療チームの足を引っばらないよう頑張りたいと思っています。

私はこの地元の出身で、患者さんと職員のみなさんと共通の話題が多いことも心強い限りです。地元医療機関の先生方とも連携を密にしたいと考えております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 糖尿病看護専門外来（フットケア）について

当院では、糖尿病療養指導士が中心となり、糖尿病フットケアに重点をおき看護をおこなっています。糖尿病は自分自身の生活習慣を見直し、健康管理をおこなうことがとても重要です。糖尿病の合併症である足壊疽（えそ）（腐敗）の頻度は年々増加しつつあります。専門外来において、足の観察ポイント・ケア方法を知ってもらい、安心して日常生活が送れるよう支援させていただきたいと思っております。来院された際は遠慮せず看護師に声をおかけください。



いずみ あい  
眼科 助教 **泉谷 愛**

診察日 月曜日・水曜日  
専門分野 眼科一般・小児眼科

平成25年4月から眼科に着任しました、泉谷です。これまでは大学病院で一般の外来と斜視弱視外来を担当してきました。今までの経験を活かして、紀北地方でのこどもの眼科診療をさらに充実させるため、丁寧な診療を心がけたいと思っております。こども外来は月曜午後に行っています。

眼科は、こどもから大人まで、幅広い年齢層の方が受診され、さまざまな病気があります。角膜・水晶体・硝子体・網膜・視神経と、眼球は小さいけれど奥が深い臓器です。体の病気が眼でわかることもあります。この地域のみなさんの眼を健康に保つため、お役に立てるよう励みたいと思っております。



かやま ゆり  
麻酔科 学内助教 **加山 由梨**

専門分野 麻酔一般

今年から紀北分院麻酔科の新任医師として赴任してきた加山由梨と申します。医師になって4年目、麻酔科に入ってから2年目の若輩者ではありますが、先生方・看護師さんたちに助けていただきながら、毎日楽しく仕事をさせていただいています。患者さんが安全に手術を受けられるように精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



内科 助教  
なかにし いちろう  
**中西 一郎**

診察日 金曜日  
専門分野 神経内科

平成25年4月から当院内科医師として赴任させていただきました。専門は神経内科全般です。私はこれまで県下ほとんどの拠点病院で外来を担当してきました。以前は那賀病院や旧施設の当院でも外来をしておりましたが、患者さんの温かさが忘れられず帰ってまいりました。紀北地方の地域医療に少しでもお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願ひ申し上げます。



小児科 助教  
とがわ ひろこ  
**戸川 寛子**

診察日 月・水・金曜日  
専門分野 小児科全般

平成25年4月より小児科に赴任した戸川です。今まで、和歌山県立医科大学附属病院、橋本市民病院、公立那賀病院等で研鑽を積んでまいりました。前任の先生のように、地域の小児医療に少しでも貢献できるよう日々精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。なお小児科医一人のため、入院が必要な方また高度で専門的な治療を要する方は、近隣病院等に紹介させていただきます。御理解の程よろしくお願ひいたします。



やまねき みか  
内科 学内助教 **山根木 美香**

診察日 月曜日  
専門分野 神経内科

平成25年4月より総合診療科（神経内科）に赴任いたしました、山根木と申します。読み方は「やまねき」です。医師になってから平成25年3月まで和歌山県立医科大学附属病院

（医大）神経内科でパーキンソン病や多発性硬化症、髄膜炎やてんかんなど多彩な神経疾患の診察、治療に従事してまいりました。

医大以外の病院で働くのは紀北分院が初めてで、かなり緊張しております。しかし、こちらに赴任して数ヶ月がたちますが、患者さんや医療スタッフのみなさんも大変優しく、とても働きやすい環境にあり感謝しております。

かつらぎ町は夫の出身地でもあり、和歌山県の中でも特に身近に感じている地域ですので、かつらぎ町をはじめ紀北地域のみなさんの健康維持に少しでもお役に立てるよう努力する所存です。

「何でも気軽に相談できる、身近な先生」を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。